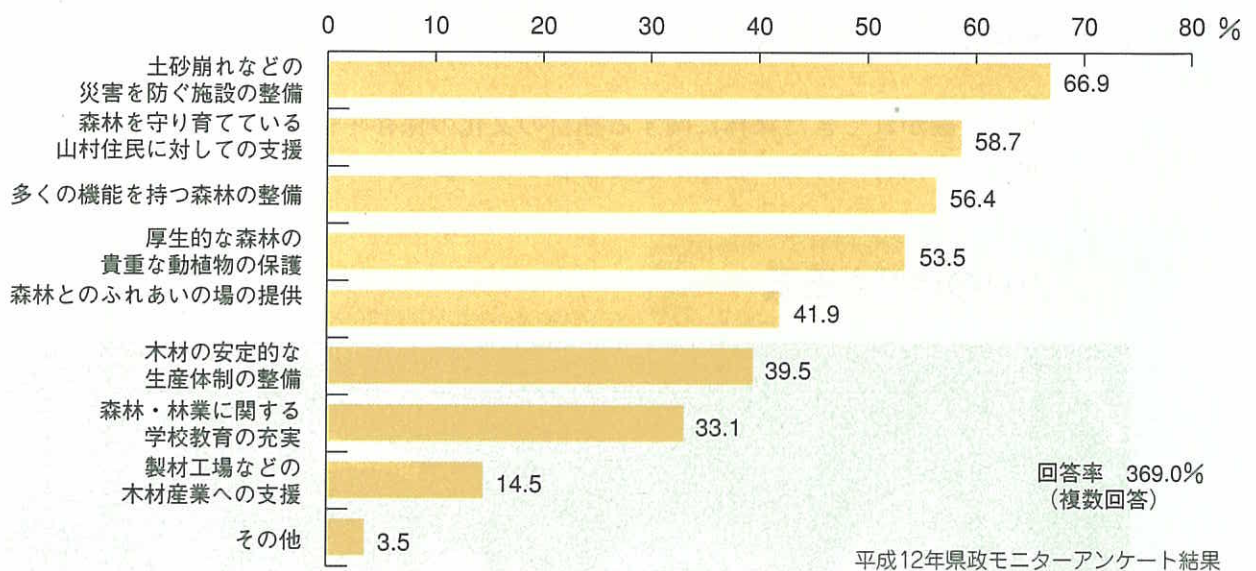


4 山村地域の現状と課題

- 山村地域は、森林の整備や木材の生産などに従事する人々の多くが生活する場であり、森林の多様な機能を発揮させるためにも欠かすことのできない役割を果たしています。このため山村地域に対する支援策は、特に力を入れるべき森林・林業政策の一つとして県民からも求められています。

本県森林・林業行政に望むもの



振興山村地域の概要

項目	県全体	振興山村地域 (H7振興山村基礎調査)		備考
		数	割合 (%)	
市町村数	67	32	48	振興山村地域を有する市町村数
総土地面積(ha)	960,633	494,669	51	
森林面積(ha)	637,877	413,950	65	
総人口(人)	1,481,663	220,816	15	
総就業者数(人)	736,263	120,720	16	
林業就業者数(人)	3,146	2,086	66	

※県全体は、H7国勢調査及びH12国土地理院による。



第3章 森林・林業の現状と課題

- また、上下水道や道路整備などが都市部に比べて遅れており、人口の減少率が大きく、65才以上の比率も2割と高いなど、過疎化・高齢化が進行しています。
このため、生活基盤の整備や就業機会の確保などによる定住化の促進が必要となっています。
- 山村では、林業とともに農業や自然環境を活かしたグリーン・ツーリズムなど新たな観光産業も芽生えてきており、多様な地域資源を活用し、関連産業も含めた振興策を展開していくことが求められています。
- 県民の価値観が多様化する中で、森林に対する関心と期待の高まりから、豊かな自然とのふれあいや植樹活動などへの参加者が年々増加する傾向にあり、都市との交流による山村地域の活性化を図るうえで、受け入れ体制を整備する必要があります。
- 脈々と引き継がれてきた森林に関する独自の文化の保存・継承が重要であるとともに、これらの文化を担う人材の育成・確保が必要となっています。

山村の炭焼き風景



新郷村西越地区